

いわて地域おこし協力隊「観光地域づくり推進員」募集要項

■地域の紹介

岩手県は、本州の北東部に位置し、東西約 122 km、南北 189 kmの南北に長い形をしています。広さは、15,275 km²で、北海道に次ぐ広大な面積を有し、緑豊かな奥羽山脈や北上高地、母なる北上川、きらめく三陸の海など豊かな自然に恵まれています。

活動の拠点となる宮古市は、人口は約 48,000 人程度で、岩手県の県庁所在地である盛岡市の東側にあり、本州では最東端に位置しています。県内でも一番広い市町村で、内陸部は緑豊かで広大な山々に囲まれ、沿岸部はリアス海岸を有し太平洋に面しているという恵まれた自然環境にあります。

海岸には、岩手県を代表する景勝地である浄土ヶ浜があり、美しい景色を撮影したり青の洞窟ツアーに参加したりと、毎年多くの人を訪れる観光地となっています。

また、夏は「やませ」の影響で比較的涼しく、冬は県の内陸部に比べて降雪量が少ないため、過ごしやすい環境でもあります。

(参考) 宮古市移住定住情報ポータルサイト 「住めば宮古」 <https://sumebamiyako.net/>

■募集の背景

岩手県の三陸沿岸地域は、その海岸線が日本では他にほとんど類例のない変化に富んだ美しい海蝕景観によって構成されており、三陸復興国立公園（青森県、宮城県の一部を含む）にも指定されています。また、これらの景観は、地球の活動によって形成された様々な自然の造形であり、「三陸ジオパーク」として認定されています。

こうした豊かな自然や東日本大震災津波の遺構、伝承施設、復興まちづくりやなりわい再生の取り組みから得た知見など、三陸沿岸地域が持つ有形無形のコンテンツを活用してSDGsをテーマとした学びのメニューづくりなどを進めています。

復興の今を学びながら、三陸地域の豊かな地域資源を体感できる「いわて三陸まなびの旅」を推進する三陸DMOセンターのメンバーとして、地域おこし協力隊として加わっていただき、共に三陸地域の特色を活かした観光地域の発展に尽力していただける方を募集しています。

1 協力隊の業務について

(1) 業務の概要

着任当初は、三陸DMOセンターのプロデューサーに同行して三陸地域の方々との関係性を構築し、学びを軸とした「プログラム開発」、プログラムを岩手県内外に販売していくための「マーケティング」など観光地域づくりを進めるとともに、それを活かした「情報発信」に取り組むことで、三陸地域の価値を最大化し、地域経済の活性化に繋げていただきます。

(2) 業務の詳細

- ①客観的データに基づく市場分析、ターゲット設定による企画立案
- ②地域の観光関連事業者が取り組む観光コンテンツの開発支援とそれを売り込むための仕組みづくり
- ③観光関連事業者等からの情報収集
- ④三陸ジオパークと連携したツアーの新規開発
- ⑤三陸観光ポータルサイト「さんりく旅するべ」による情報発信
- ⑥イベントを活用した情報発信

(3) スケジュールの例

業務内容と時期により発生する業務は日々異なるため、あくまで一例となります。

(1日)

08:30	出勤	ミーティング、メール対応
10:00	各市町村、地域事業者との打合せ、現地視察やヒアリングなど	
12:00	休憩	
13:00	企画書作成や書類作成、調整業務など	
14:30	情報発信業務など	
17:15	退勤	

(週間)

月曜日	}	ミーティング、メール対応、
火曜日		関係団体・事業者とのミーティング
水曜日		市場分析、企画立案・調整
木曜日		さんりく旅するべ等を活用した情報発信
金曜日		次週のスケジュール確認、リマインド対応
土曜日	・・・休日	
日曜日	・・・休日	

※イベント対応のため、休日出勤する場合があります（振替休日で対応）
※出張は車の運転による移動が中心です（1～2時間程度）

(4) 発展的な業務

基本業務を進めていくと、宿泊施設、交通機関、飲食・物産等の観光に関わる地域事業者や地域住民、自治体関係者、旅行会社など多くの方々との関係性が構築されていきます。この関係性を活かし、各地域が持つ観光コンテンツをデジタルマーケティングにより戦略的に売り込み、旅行会社と地域を繋ぐランドオペレーター役（旅行会社から依頼を受け、運送手段や宿泊地の手配・予約を行う企業など）として活躍していただくことを期待しています。

(5) 3年間の活動イメージ

○コーディネータースキルを身に着ける1年目

三陸DMOセンターのプロデューサーと共に地域に入り、情報収集をしていく中で地域の特性や風習を理解し、事業者や地域の方々との関係性を構築します。

○コーディネータースキルを磨く2年目

1年目に構築した関係性を活かし、マーケティングや地域ブランド戦略のほか、旅行商品や特産品等の開発、広報、プロモーションのスキル等を磨きます。

○コーディネーターとして一人立ちする3年目

2年目に引き続き、コーチングのスキル等を磨き、観光で稼ぐための総合的なコーディネータースキルを習得することを目指します。

○任期終了後について

観光業は関係機関との合意形成が鍵となるため、地域からの信頼や協力が得られれば、任期後も三陸観光に携わる道が開けてきます。そのためにも、地域おこし協力隊としての3年間は、観光業の経験豊富な観光プロデューサーからの助言を受けながら積極的に地域に入り、地域の方々との関わりを作っていきましょう。

また、任期終了後は、他のDMOや観光協会、旅行業関係への道が考えられ、そこで必要なスキル（関係機関との繋がり、三陸地域の魅力発信スキル等）を、日々の業務を通して身につけ

ることができます。

(6) その他の業務について

日報や月報、報告書等の作成業務があります。また、必要な研修の受講など、協力隊や観光案内人として必要な業務を行います。

2 求める人材について

(1) 求められるスキル・経験

- ①地域の特性や風習を尊重できること
- ②円滑なコミュニケーションがとれること
- ③普通自動車運転免許（AT 限定可）を有していること
- ④パソコン（Excel・Word・PowerPoint・Mail・SNS による情報発信など）の基本的な操作を行うことができること

(2) 歓迎するスキル・経験

- ①マーケティング分析をしたことがあること
- ②外国人とコミュニケーションをしたことがあること（外国語による）
- ③ホームページや SNS 等による情報発信をしたことがあること

(3) 求めている人材について

- ①岩手県が好きな人
- ②観光が好きな方
- ③震災復興や防災学習に興味関心がある方
- ④観光関係の企業や団体に働いた経験がある方
- ⑤地域の方々と関わるのが好きな方
- ⑥観光業に携わることを検討している方

3 住環境や交通手段について

(1) 住環境について

- ①アパート賃料の目安は、宮古駅 30 分圏内、築 10 年、1DK～1LDK だと、月額 5.5～7.0 万円程度です。
- ②買物先として、コンビニ、ドラッグストア、スーパーマーケット、ホームセンター、家電量販店などがあります。
- ③勤務場所の近くには、季節の新鮮な地域の魚介類や野菜を扱う市場があります。
- ④病院は、救急医療に対応する総合病院の岩手県立宮古病院があります。

(2) 交通手段について

- ①公共交通機関を利用
 - 東京～盛岡 JR 新幹線はやぶさ 約 2 時間 20 分
 - 盛岡～宮古 岩手県北バス 約 1 時間 40 分
 - 東京～宮古 約 4 時間
 - ※職場は宮古駅から徒歩 10 分
- ②車を利用
 - 盛岡駅から車で 80 分

4 応募要件等について

(1) 募集人数

いわて地域おこし協力隊 観光地域づくり推進員 1名

(2) 着任予定日

令和6年春頃を想定（時期については応相談）

(3) 岩手県との雇用関係の有無

岩手県との直接の雇用関係はなく、「いわて定住・交流促進連絡協議会任期付職員」として任用します。（詳細は（8）雇用形態をご覧ください）

(4) 応募資格

次の①～⑤の要件をすべて満たす方。

① 次のいずれかに該当する方

ア 現在、三大都市圏又は地方都市等（過疎、山村、離島、半島などの地域に該当しない市町村）に居住し、着任後に住民票を宮古市に異動し居住できる方

イ 宮古市以外の市町村において、地域おこし協力隊員として同一地域で2年以上活動し、かつ解職後1年以内の方で、協力隊員として採用された後に宮古市に生活の拠点を移し、住民票を異動することが可能である方

※地域要件は、国の地域おこし協力隊推進要綱における「地域おこし協力隊及び地域プロジェクトマネージャーの特別交付税措置に係る地域要件確認表」によるものとします。詳細は総務省のHPで確認していただくか、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000862222.pdf

② 心身が健康で、かつ、地域協力活動に意欲と情熱を持っている方

③ 普通自動車運転免許を取得している方（AT限定可）

④ パソコンを日常的に使用しており、一般的な操作（Excel・Word・PowerPoint・Mail・SNSによる情報発信など）を行っての業務が可能なる方

⑤ 地方公務員法第16条に規定する一般職員の欠格事項に該当しない方

(5) 主な勤務地

「公益財団法人さんりく基金事務局」（岩手県宮古市五月町1-20 県宮古地区合同庁舎2階）

※活動範囲は三陸地域（洋野町～陸前高田市）になります。

(6) 勤務時間 【第2回から変更しました！】

・ 午前8時30分から午後5時15分まで（1時間休憩あり）

・ 原則、1日あたり7時間45分、1週間あたり38時間45分勤務を基本とします。

ただし、(10)に定める兼業等を理由として、**週4日勤務など勤務時間を変更することも可能ですので、応募の段階で御相談願います。**（その場合、勤務時間数などに応じて給与額が調整されます）

(7) 休日・休暇

原則、週2日、年末年始（12/29～1/3）、国民の祝日

※土日祝日においてもイベント、出張対応等の勤務が生じる場合があります。

休暇として、年次休暇、病気休暇、特別休暇があります。

(8) 雇用形態

①雇用形態：「いわて定住・交流促進連絡協議会任期付職員」（いわて地域おこし協力隊）として採用（岩手県は「いわて地域おこし協力隊」として委嘱）

※「いわて定住・交流促進連絡協議会」は、いわてへの定住・交流促進に向けて、情報の共有化、ネットワークの構築を図ることを目的として、県・市町村・民間団体等が設置した組織です。

②期間：任期は1年以上、3年以下 年度単位の更新

③雇用先：いわて定住・交流促進連絡協議会

（岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県ふるさと振興部地域振興室内）

(9) 給与

報酬月額：200,200円（1週間あたり38時間45分勤務の場合）

賞与・昇給：なし

(10) 兼業

地域おこし協力隊の活動の妨げにならない範囲で認めます。

※事前に協議会の許可が必要です。

(11) 待遇・福利厚生

①通勤手当：有（協議会の規程により支給。上限32,000円）

②家賃補助：有（協議会の規程により27,000円を上限に家賃の概ね半額程度補助）

③加入保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

④時間外手当：支給しない

⑤休日勤務の取り扱い：振替休日にて対応

⑥活動車両：協議会で車両をリースして各所属へ配置予定（業務での使用に限ります）

⑦パソコン：協議会から貸与

(12) 現地見学会・オンライン相談など

①現地見学会を希望される場合は、随時対応いたしますので御相談下さい。

※現地開催の場合は、交通費は自己負担となります。

②オンライン又は電話による情報収集及び相談を希望される場合も、随時対応いたします。

5 応募手続きについて

(1) 提出書類

いわて地域おこし協力隊 応募用紙（パソコンでの作成可）

※応募用紙は、岩手県のホームページに掲載しています。

(2) 募集期間

令和6年3月8日（金）17時まで

※募集期間内に応募いただきましたら随時選考いたしますので、採用者が決まり次第募集を終了します。

(3) 選考の手続き

ア 1次選考：書類選考

応募書類による書類選考を実施します。

結果は、応募を受け付けた日から1週間程度で御連絡します。

イ 2次選考：オンライン面接

書類選考合格者を対象にオンラインで面接を実施します。オンライン面接の結果は、面接の日から1週間程度で御連絡します。

ウ 3次選考：面接

オンライン面接合格者を対象として、最終面接を盛岡市内で実施します。（面接会場までの交通費は自己負担になります。）

面接の結果は、面接の日から1週間程度で御連絡します。

(4) 書類の提出先・問い合わせ先

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

岩手県 ふるさと振興部地域振興室 いわて地域おこし協力隊担当 宛て

電話：019-629-5184

mail：AB0007@pref.iwate.jp

※応募書類は書留郵便又はレターパックプラスで郵送して下さい。

<参考 URL>

■公益財団法人さんりく基金ホームページ

<https://sanriku-fund.jp/>

■公益財団法人さんりく基金ホームページ 三陸 DMO センター 「さんりく旅するべ」

<https://sanriku-travel.jp/>